

事業評価調査(目的設定、中間評価、事後評価) (評価年度:令和7年度)

政策	5 健康・医療・福祉		
施策	1 持続可能な医療・介護サービス提供体制を構築する		
方向性	② 人口減少社会においても持続可能な医療提供体制の確保		
事業名	入院中のこどもの家族の付添い等に関する環境改善事業	事業年度	R8 年度～ 年度
部局名	健康福祉部	課室名	医務薬事課
チーム名	政策・地域医療チーム		

1 事業実施の背景及び目的

本県における小児医療機能の集約化に伴い、遠方からの入院患者が増加する中、付添い家族の心身への過度な負担が課題となっている。このため、付添い家族の環境改善を図る医療機関に対し、物品購入等の支援により家族の負担軽減を図り、子ども達が健やかに育つ環境を整備するとともに、保護者が安心して子育てできる社会を実現する。

2 事業概要及び財源

(単位:千円)

	事業内訳	概要	令和8年度 予算額	令和7年度 決算(見込)額	最終年度 決算(見込)額
1	入院中のこどもの家族の付添い等に関する環境改善事業	医療機関が行う付添い環境改善のための物品購入に対し助成する。	1,600		
2					
3					
4					
5					
その他合計 (件)					
財源内訳			1,600	0	0
左の説明					
国庫補助金			800		
母子保健衛生費国庫補助金					
県債					
その他					
一般財源			800	0	0

3 事業の効果を把握するための手法及び効果の見込み
【指標Ⅰ】

指標名	本事業を活用して付添い家族の環境改善を図った医療機関数(施設)【成果指標】									
指標式	本事業を活用して付添い家族の環境改善を図った医療機関数									
出典	医務薬事課調べ									
把握時期	当該年度3月									
年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度	9年度	10年度
目標a								4	4	4
実績b										
b/a								0.0%	0.0%	0.0%

【指標Ⅱ】

指標名										
指標式										
出典										
把握時期										
年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度	9年度	10年度
目標a										
実績b										
b/a										

◎指標を設定することができない場合の効果の把握方法
①指標を設定することができない理由**②見込まれる効果及び具体的な把握方法(データの出典含む)**

事業評価調書(目的設定、中間評価、事後評価) (評価年度:令和7年度)

政策	5 健康・医療・福祉			
施策	1 持続可能な医療・介護サービス提供体制を構築する			
方向性	③ 介護・福祉サービスの安定的・持続的な提供を支える人材の確保			
事業名	外国人介護人材確保・定着促進事業	事業年度	R8	年度～ 年度
部局名	健康福祉部	課室名	長寿社会課	
チーム名	介護人材対策チーム			

1 事業実施の背景及び目的

生産年齢人口の減少により、介護職員は減少してきており、介護分野への外国人材の受入れ拡大を図ることにより、介護サービスの安定的・持続的な提供を確保する。

2 事業概要及び財源

(単位:千円)

	事業内訳	概要	令和8年度	令和7年度	最終年度
			予算額	決算(見込)額	決算(見込)額
1	外国人介護従事者受入環境整備事業	県内介護サービス事業者が実施する外国人介護人材の受入れ環境整備に向けた取組経費の一部を助成する。	4,640		
2	外国人介護人材定着支援事業	外国人介護人材の定着と地域との共生に向け、県内の外国人材と地域の関係者とのネットワークを構築する。	1,428		
3					
4					
5					
その他合計 (件)					
財源内訳		左の説明	6,068	0	0
国庫補助金					
県債					
その他		地域医療介護総合確保基金	6,068		
一般財源			0	0	0

3 事業の効果を把握するための手法及び効果の見込み
【指標Ⅰ】

指標名	特定技能外国人介護人材の人数(人)【成果指標】									
指標式	外国人介護人材のうち特定技能1号として県内で就労する人数									
出典	秋田労働局「外国人雇用状況」の届出状況のまとめ									
把握時期	当該年度1月									
年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度	9年度	10年度
目標a								226	249	274
実績b					69	106	205			
b/a								0.0%	0.0%	0.0%

【指標Ⅱ】

指標名										
指標式										
出典										
把握時期										
年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度	9年度	10年度
目標a										
実績b										
b/a										

◎指標を設定することができない場合の効果の把握方法
①指標を設定することができない理由
②見込まれる効果及び具体的な把握方法(データの出典含む)

事業評価調査書(目的設定、中間評価、事後評価) (評価年度:令和7年度)

政策	5 健康・医療・福祉			
施策	2 誰もが健康的に自分らしく暮らせる社会を実現する			
方向性	② 高齢者単身世帯等の見守り体制の強化と介護予防の推進			
事業名	豊かな長寿社会創造推進事業	事業年度	R8	年度～ 年度
部局名	健康福祉部	課室名	長寿社会課	
チーム名	介護人材対策チーム			

1 事業実施の背景及び目的

一層の高齢化が進行する本県において、テクノロジーの力を十分に引き出し、課題やニーズへの対応を図るため、将来を見据えた取組を推進する。

2 事業概要及び財源

(単位:千円)

	事業内訳	概要	令和8年度 予算額	令和7年度 決算(見込)額	最終年度 決算(見込)額
1	豊かな長寿社会創造調査研究事業	県内外の企業投稿・技術シーズ等のリサーチを行い、超高齢化に伴う課題解決等につなげるための方針を策定する。	4,481		
2	豊かな長寿社会創造カンファレンス開催事業	調査研究事業の成果を踏まえた取組方針を示し、幅広い関係者の参画を図るため、シンポジウム形式のカンファレンスを開催する。	2,750		
3					
4					
5					
その他合計 (件)					
財源内訳		左の説明	7,231	0	0
国庫補助金		地域未来交付金	3,468		
県債					
その他					
一般財源			3,763	0	0

3 事業の効果を把握するための手法及び効果の見込み

【指標Ⅰ】

指標名	カンファレンスへの参加団体・事業所数(社(団体))【成果指標】									
指標式	カンファレンスへの参加団体・事業所数									
出典	長寿社会課調べ									
把握時期	当該年度11月									
年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度	9年度	10年度
目標a								20	25	30
実績b										
b/a								0.0%	0.0%	0.0%

【指標Ⅱ】

指標名										
指標式										
出典										
把握時期										
年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度	9年度	10年度
目標a										
実績b										
b/a										

◎指標を設定することができない場合の効果の把握方法

①指標を設定することができない理由

②見込まれる効果及び具体的な把握方法(データの出典含む)